

米くちゃんスタンプ登場

べえ

遊佐町と町域おこし協力隊などが、町のイメージキャラクター「米くちゃん」の家族をモチーフに、無料通信アプリ「LINE(ライン)」で使えるスタンプを作製した。米くちゃんたちが「いの☆(いいね)」「んだの(そうだね)」「など方言を話し、対応したしぐさを見せている。

米くちゃんは2004年度 高校生の作品が選ばれた。この少年議会在が公募し、地元の人をモチーフに、豊かな土地



米くちゃんの家族をモチーフにしたLINEスタンプと、イラストを手掛けた鈴木陽子さん

「いの☆」「やばち」方言話し、町PR

と町民の「元気」を表現。手には稲を持ち、帽子は鳥海山でぬれて、服が体に張り付いたかたどった。同年に町が正式にイメージキャラクターとして認定した。

印象深いのは「やばち」(雨月)に打診を受け、仕事が終わった後に1、2時間かけ、1月から約半年で40種類を作製した。

LINEスタンプは、同アプリを使ってメッセージやりとりする際に使えるイラストのこと。町や協力隊、遊佐高生に加え、遊佐中卒業生で組織する遊人会が地元や方言への愛着を育み、定住促進を図るとともに、町のPRにつなげようと企画した。

「町外にいる遊佐出身者、若い人たちに使ってもらい、懐かしい気持ちになったり、方言を覚えたりしてほしい」と話していた。

イラストは鈴木陽子さん(38)が手掛けた。鈴木さんは遊佐地域づくり協議会が不定期で発行する「遊佐ちよっこタイムズ」で方言コーナーを担当しており、また趣味でイラストを描いていることが6。

配信を開始しており、LINEアプリで購入でき、価格は1200円。問い合わせはNPO法人遊佐鳥海観光協会02334(72)566

ら白羽の矢が立った。昨年11